

「佐紀・都跡幼稚園」学校規模適正化推進協議会ニュース

第1号



平成21年12月
奈良市教育委員会教育企画課

奈良市学校規模適正化について

本市では、少子化により子どもの数の減少が続き、多くの地域で学校・園の小規模化が進んでいます。一方、大規模集合住宅の開発が進む地域の小学校では過密な状況になっています。こうしたことから学校規模の適正化が必要となっています。

教育委員会では奈良市学校規模適正化検討委員会からの提言を受け、平成20年1月に「奈良市学校規模適正化実施方針」と「中学校区別実施計画（案）」を策定し、より良い教育環境の整備・充実のため学校規模適正化に向けて取り組んでいます。

学校規模適正化の実施にあたっては、対象地域において保護者や地域住民、学校関係者のそれぞれの代表からなる協議会を設置していただき、十分協議し、進めていきます。

第1回「佐紀・都跡幼稚園」学校規模適正化推進協議会を 12月10日（木）に都跡幼稚園で開催しました。

会長・副会長が選出されました。

委員は地域住民の代表8名、保護者代表6名、学校関係者4名の計18名から構成されています。

会長に自治連合会会長の酒井豊志さん、副会長に自治連合会副会長の西川菊次さん、佐紀幼稚園長の北中照美さん、都跡幼稚園長の往西慶子さんの3名が選出されました。

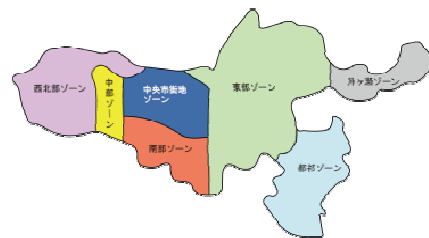


学校規模適正化実施方針と「佐紀・都跡幼稚園」学校規模適正化実施計画（案）について

推進協議会では奈良市における学校規模適正化実施方針を説明し、「佐紀幼稚園は、過小規模が継続することから、都跡幼稚園に統合・再編するとともに、統合先の都跡幼稚園において幼稚園型の認定こども園を導入し子育て支援を充実する」という実施計画（案）について説明しました。

計画の主たる理由は、下記のとおりです。

- ◆ 奈良市第3次総合計画の土地利用の方向性をもとに区分した右の7つのゾーンのうち、中部ゾーンの子育て支援の拠点とする。
- ◆ 3歳児保育の実施や子育て支援の充実を図り、各学年2学級編成の適正な規模の教育環境を整える。



「認定こども園」制度について

都跡幼稚園に導入を予定しています幼稚園型の「認定こども園」では、幼稚園に保育所的機能を加え、3歳児保育・預かり保育・未就園児保育（0歳～3歳の親子登園）・給食等を実施し、子育て支援等の充実を図ります。なお、認定こども園の詳細については、市の教育企画課ホームページをご覧ください。

幼稚園の現状について

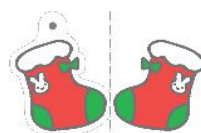
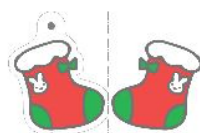
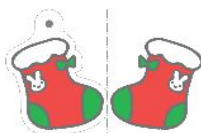
園児数

佐紀幼稚園

昭和53年には、園児数が136人4学級の適正規模の幼稚園でしたが、平成15年には園児数24人2学級となり、平成21年は年少8人、年長4人で12人2学級となりました。平成22年度には年少9人、年長8人で17人2学級となる予定です。今後も園児数は20人前後が続く状況です。

都跡幼稚園

昭和54年には284人8学級でしたが、平成15年は121人4学級に、平成21年は74人4学級となりました。平成22年度には71人3学級となる予定です。今後も園児数は70～80人規模が続く状況です。



よりよい教育環境を目指して



小規模校や大規模校にはそれぞれのメリットやデメリットがありますが、規模が大き過ぎたり小さ過ぎたりする場合は、メリットよりもデメリットの方が多いと考えています。

学校園は、知識や技能を習得するだけでなく、子どもたちが多くの友だちと交わり、豊かな人間関係を築きながら、社会性を身につける場です。

また、確かな学力の育成に向け様々な形態による学習を行ったり、多様なものの見方や考え方を学んだりするためにも、活動に応じて小さな集団から大きな集団まで、適切な規模で効果的な教育活動を展開する必要があります。

小規模校のメリットとしては、例えば・・・

- ・家庭的な雰囲気の中で学習できる。
- ・一人一人が主役として活躍することができる。

小規模校のデメリットとしては、例えば・・・

- ・いろいろな役割になって遊ぶ「ごっこ遊び」やドッジボール、サッカーのようなルールのある集団遊びができてにくい。
- ・集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少ない。

次のようなご意見やご質問をいただきました。

委員：佐紀からの通園方法の確保が大変である。小学生ならバスに乗って勝手に通学もできるが、園児はそうにはいかない。保護者も心配する。通園に時間がかかるのではないか。

委員：送り迎えに時間がかかると、幼稚園に迎えに行っている間に、兄弟の小学生が家に帰っていることが起こってはこないか。

委員：認定こども園には幼稚園以外もあるのですか。

回答：4つのパターンがあります。平成22年度4月は都祁で保育所型が開園します。

委員：幼稚園型の認定こども園になると先生方の仕事が増えることはありませんか。

回答：長時間利用児対象の教員や子育て支援専任教員も配置しますので、教員の人数は増えます。

委員：認定こども園は働いているお母さんには魅力があるが、専業主婦には魅力はありません。

今後の予定



* 平成22年2月中に作業部会を開催し、地域・保護者の意見や要望をまとめ、内容を検討します。第2回の推進協議会は3月中に開催する予定です。

教育企画課ホームページへは、

奈良市トップページ > 組織で探す > 教育総務部 > 教育企画課

お問い合わせ先 奈良市教育委員会教育企画課 34—5386（直通）